

# 福島 ナウ 2019 夏

かながわ環境カウンセラー協議会の現地研修会にジョイントするため、南相馬市に向かった。研修会は横浜出発で、福島第一廃炉作業の見学をする。翌日福島の仲間たちとの交流がある。途中浪江で落ち合った。

千葉からは、東北新幹線で福島へ、さらに高速バスに乗る。

飯舘村を通らない新ルート、相馬福島道路を通る。トンネルが多い。

「阿武隈山脈には 100 もの山がある」と後に聞いた。

## 福島駅西口公園・放射線量測定器と表示板

高速バス乗り場前の公園内に設置されている



2013.4.20 0.231  $\mu$  sv/h

2019.8. 3 0.128  $\mu$  sv/h

## 福島相馬道路：

東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト「復興支援道路」として位置付けられた高規格幹線道路で、国道 115 号である。

現在まだ全線開通していないが、飯舘村経由より所要時間は短縮された。



ふくしま復興ステーション HP より



霊山 IC



道の駅



【霊山道路】 境ノ目トンネル(175m)



馬館山トンネル(367m)



七ツ窪トンネル(1404m)



宝直トンネル(161m)



金弁蔵トンネル(626m)



腰巡トンネル(889m)



庄司淵トンネル(929m)



ここを降りると飯館村

【阿武隈東道路】松が房トンネル(1319m)

荻平トンネル(1023m)



櫛這トンネル(1492m)

工事中のトンネル 東北道接続

櫛這トンネルの次 玉野トンネル(968m)は撮影できず



一般道路へ降り

東北道に入る

## 南相馬市



2016.11. 20

原町区大甕 除染廃棄物置き場

3年前から何も変わっていない 復興桜が大きくなっていた

浪江町請戸



請戸橋から港方面



請戸小学校 将来は震災遺構 立ち入れず、遠目に見るだけ 周辺 除染廃棄物置き場



請戸小学校 給食室 3面 片づけ済 外側は災害がれき置き場



請戸小学校 昇降口から教室へ

体育館 津波の進入路と出口・右から左へ床がへこむ

南相馬市小高区



浦尻・下浦公会堂 震災遺構になると聞いていたが取り払われた 後方にソーラーパネル



防災林 造成はまだ終わらない

2018年全国植樹祭会場 構築物は取り払われた



浦尻公会堂前 津波の到達点

浪江町消防団巡回車が通った

これより手前は浪江町棚塩地区。「福島水素エネルギー研究フィールド(Fukushima Hydrogen Energy Research Field)」が2020年7月の稼働を目指し、建設工事を進める。



「福島水素エネルギー研究フィールド(FH2R)」の完成イメージ 出典:NEDO



防潮堤資材やテトラポットは海岸近くで造られた。農地と併せ、こういう場所にソーラーパネルが設置された



再生可能エネルギー 連なるソーラーパネル



風力3基(鹿島区真野漁港付近)



8月4日 南相馬市の一斉清掃の日 6:18



6:53

早朝、人が集まっている。全市を挙げての「草刈りとごみ拾い」は地区住民総出の定例行事だ

北泉海浜公園



草刈りロボット稼働中 左:充電器



サーフィンの浜 後方は東北電力原町火力発電所



2012.4.15



2012.4.15

防潮堤は嵩上げされた



2012.4.15



2012.4. 15

津波の威力

一周年の供養塔



2012.4.15



2012.4.15



2014.20

北萱浜地区海岸沿い 災害がれきは分別されていた

すべて再生利用された



最先端施設「ロボットテストフィールド」完成は2020年3月 見学は月～金  
立地は原町区萱浜 津波で68の方が亡くなった集落跡

**交流会** 会場:道の駅南相馬



T.NAGASAWA

交流風景

お別れの法螺貝

福島を伝える会

**東北道の放射線量表示**



地点不明 0.6 μsv/h

大熊町 4 km 2.6 μsv/h